

イムノセイバーの実際

A. 大量の切片を処理する方法

1. パラフィンブロックを 3μ の厚さに薄切し、剥離防止用スライドガラスに貼付します。

(剥離防止用スライドガラスは、(株)松浪硝子工業のFRONTIERが剥がれにくいので推奨します。特に乳腺、皮膚など)

2. 型どおり脱パラフィンを行います。

3. 3リットル用の電動ポット象印CD-WL30を用意します。

電動ポットにイムノセイバーを15mmL入れます。

蒸留水またはイオン交換水を3リットルラインまで注ぎ入れます。写真1

4. 電動ポットの電源をいれ沸騰させ、 98°C の保温状態にします。写真2

5. 電動ポット内にスライドガラスを金属カゴのまま浸します。よく馴染ませます。写真3

6. 電動ポットの蓋をし45分間保温状態で処理します。写真4

7. 処理が終わったら直ちに金属カゴごと取りだし緩衝液中に入れます。写真5 写真6 **冷却時間は不要で**

す。

8. 以後免疫染色を行います。参考1 参考2 参考3

イムノセイバーを3リットル電気ポットに15ml採り、蒸留水またはイオン交換水を3リットルラインまで満たす。電源を入れ沸騰させ保温状態にする。染色籠ごとスライドガラスを入れる



保温状態のまま45分間加温する。45分後直ちに電気ポットからスライドガラスを取り出し緩衝液中で洗浄する。

B.少量の切片を処理する方法^{new}

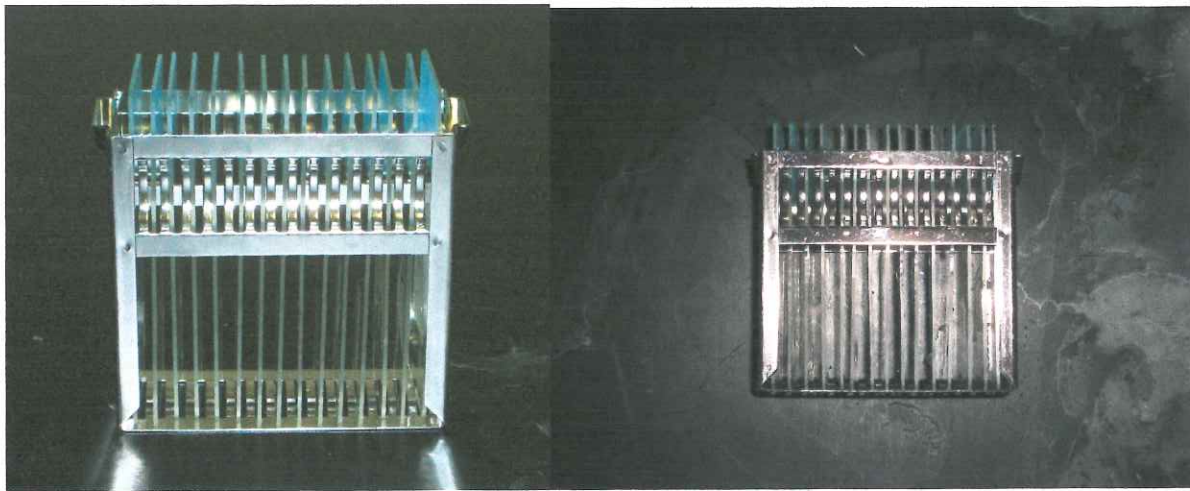
1. 用意するもの1リットルの電気ポット象印CH-CD10 (保温機能付き)、スライドガラス15枚用の金属カゴ。



2. 1リットルの電気ポットに蒸留水かイオン交換水でイムノセイバーを200倍希釈した溶液300mlを入れます。

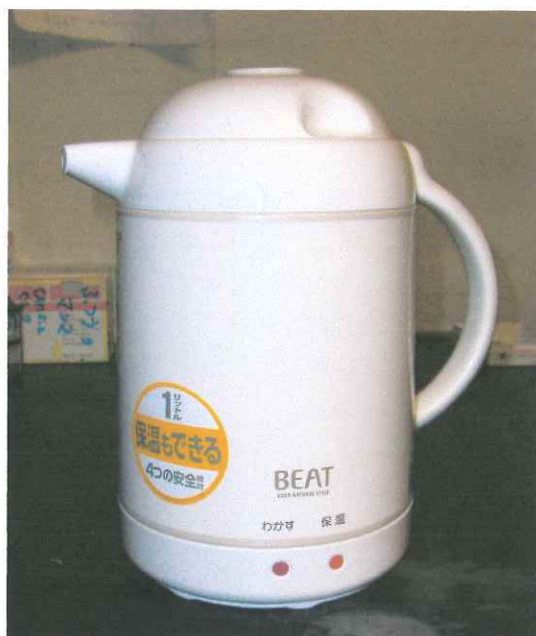


3. 脱パラフィンしたスライドガラスを、金属カゴのまま1リットルの電気ポットに浸します。このとき金属カゴは横に寝かします。よく馴染ませます。





4. 蓋をし電気ポットを通電させ50分間置きます。約5分で沸騰します。45分間保温状態で処理します。

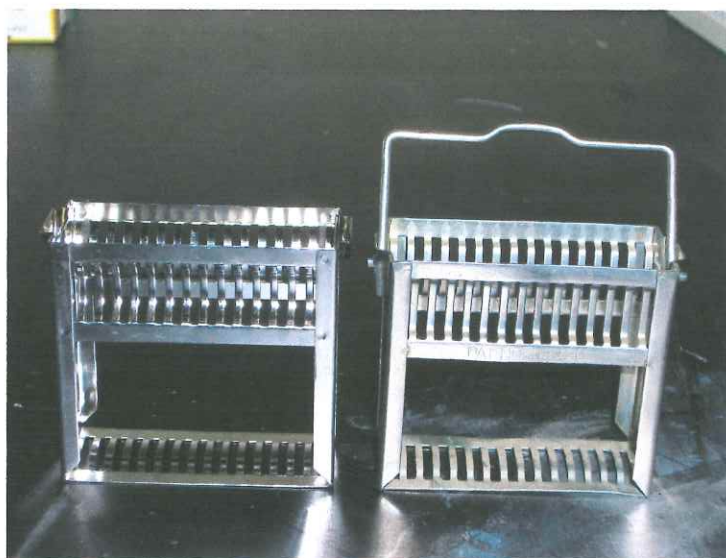


5 賦活化が終わったら直ちに電気ポットから、金属カゴごとスライドガラスを取だし、緩衝液中に入れます。冷却時間は不要です。



6. 以後、免疫染色を行います。参考

注意 金属カゴの取手の部分が有ると、電気ポットの中に入りませんので、予めペンチなどで切り取って使用してください。



参考 この方法はHer2染色の温浴処理にも使用することができます。

Copyright(c) immunosaver.com All right reserved.

掲載された全ての記事・画像等の無断転載をお断りいたします。、二次利用をご希望の場合は必ず許諾を得てください。

また、掲載された内容については、免責事項とさせていただきます。